

自動車ブレーキシステム技術実務講座

制動システムの機能設計とB B W・自動ブレーキの適応技術

日時
2018年 9月28日 (金)
10:30 ~ 17:00

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

本講習会ではまず、ブレーキシステムについて機能構成別に、ブレーキブースタなど機械的な制御機構、ABSなど電子的な制御システムの狙い作動原理を解説します。次いで、ブレーキパイワイヤ、回生ブレーキの概念、作動方式、長所・短所などについて説明し、最後に、自動運転システムにおける自動ブレーキの役割と今後の課題、動向について解説します。「ブレーキ制御」が、本来の「安全性制御」に加え、操縦・安定性に関わる「駆動力制御」、「旋回制御」などに用いられる背景についても触れます。

講師 東京電機大学 工学部 研究員 川口 裕氏
(元)トヨタ自動車(株)第2車両技術部(東富士研究所)主査

プログラム

- ・制動システムの機能構成
 1. パワー源(人力、真空圧、空気圧、油圧、電力)
 2. ドライバー意志伝達
 3. 力の倍力・変換・伝達・制御
 4. ブレーキ本体の効き、倍力
 5. タイヤ・路面間での制動力発生
- ・制動システム構成機能の設計 ~ 各機能要素の作動原理と特長 ~
 1. 制動システムの企画・設計手順
 2. ブレーキペダル(ペダル比可変方式)
 3. ブレーキブースター(方式と特長)
 4. ブレーキマスタシリンダー(方式と特長)
 5. ブレーキ配管(分割方式と特長)
 6. 油圧制御バルブ(PVとfail-safe機構、LSPV、EBD)
 7. ディスクブレーキの設計手順
 8. ドラムブレーキの設計手順
 9. パーキングブレーキ(方式と特長)(電動PKB)
 10. 制動システム・コンポーネントの最適化
- ・制動システム制御技術(各種システムの狙い、構成、制御方法、効果)
 1. 事故発生の時間的流れ
 2. ABS
 3. TCS (Traction Control System)
 4. ESC (Electronic Stability Control System)、VSC、VDIM、法規動向
 5. BAS (Brake Assist System)、方式と特徴、法規動向
 6. PCS (Pre Crash Safety System)、概念・設計思想、法規動向(欧州AEBS)
 7. ACC、LDPS、LDWS
 8. 乗用車自動ブレーキ性能評価方法と評価結果(EuroNcap、Jncapの最新動向)
- ・Brake by Wire制動システム(作動概念、応用システムと作動原理、電動ブレーキ他)
- ・回生制動協調制御システム(作動概念、新型プリウス・各社方式と特徴、企画設計方法)
- ・自動運転システムにおける自動ブレーキの役割と今後の課題
車両挙動可視化(事故時挙動、車輪荷重変化、ABS有無の差など動画)

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 自動車ブレーキシステム技術実務講座

セミナーコード

1101-180928

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/9/28 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				